

資料 6

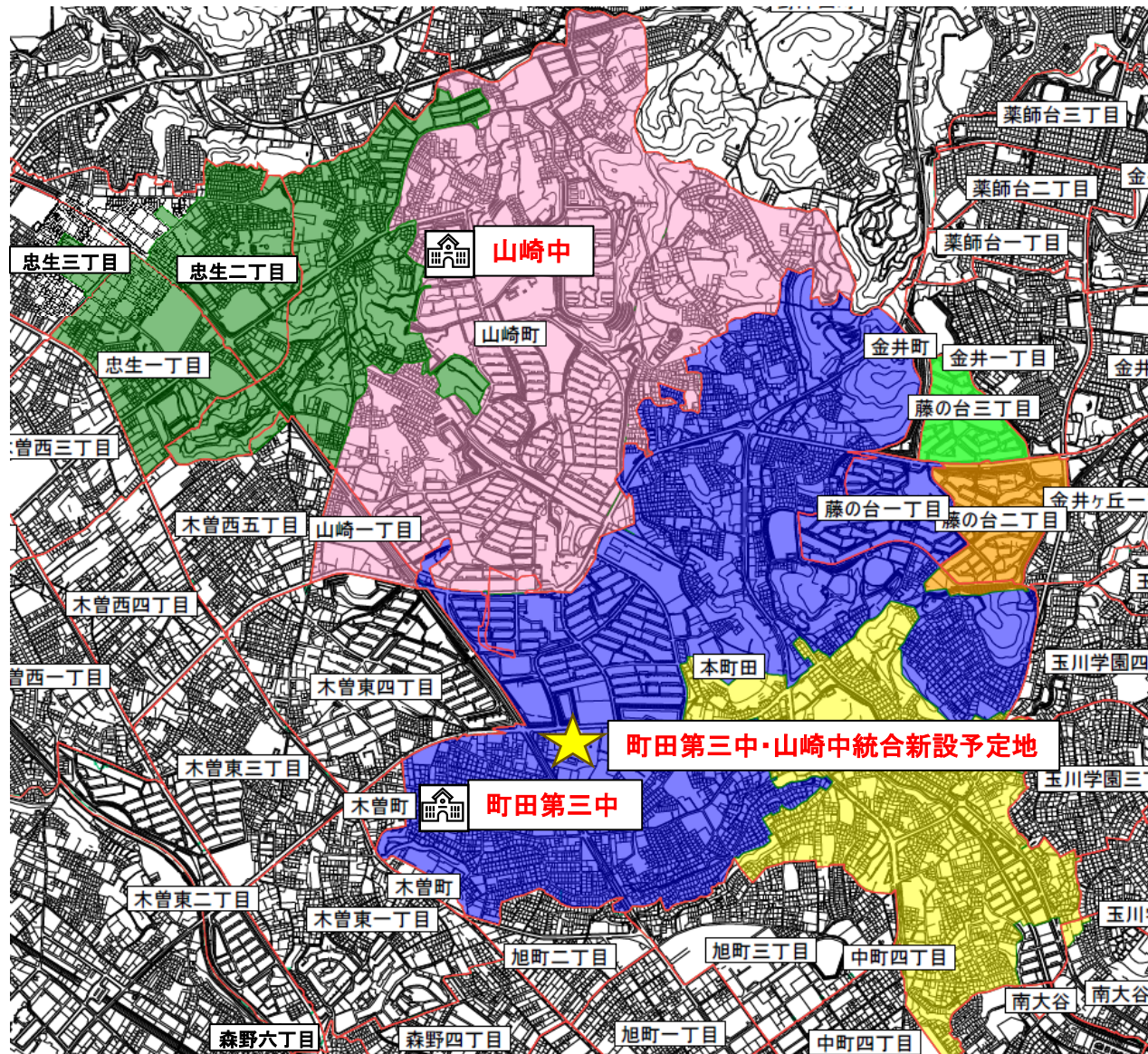
町三・山崎地区の 新たな学校の概要

統合までのスケジュール

		7年前 26年度	6年前 27年度	5年前 28年度	4年前 29年度	3年前 30年度	2年前 31年度	1年前 32年度	【統合】 33年度
統合に向けた準備・検討		基本計画 検討会				新たな学校づくり基本計画推進協議会			
対 象 校 等	町田第三中学校				既存校舎				
	山崎中学校				既存校舎				
	旧本町田小学校用地	本町田ひなた小学校	校舎解体及び新築工事						新校舎使用開始
対 象 学 齢 早 見 表	2012.4.2～2013.4.1生まれ	中2	中3	—	—	—	—	—	—
	2013.4.2～2014.4.1生まれ	中1	中2	中3	—	—	—	—	—
	2014.4.2～2015.4.1生まれ	小6	中1	中2	中3	—	—	—	—
	2015.4.2～2016.4.1生まれ	小5	小6	中1	中2	中3	—	—	—
	2016.4.2～2017.4.1生まれ	小4	小5	小6	中1	中2	中3	—	—
	2017.4.2～2018.4.1生まれ	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	—
	2018.4.2～2019.4.1生まれ	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
	2019.4.2～2020.4.1生まれ	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2
	2020.4.2～2021.4.1生まれ	—	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1

統合

新しい通学区域・統合新設校建設予定地



1 新しい通学区域

- ・藤の台1丁目～3丁目全域
- ・山崎1丁目全域
- ・山崎町全域
- ・忠生1丁目全域
- ・本町田の一部
- ・忠生2丁目～3丁目の一部

2 新校舎建設予定地

現本町田ひなた小学校の敷地

町三・山崎地区 統合対象校について

■町田第三中学校（築58年）



①生徒数・学級数

	2026	2030	2040
生徒数	333	343	348
学級数	11	10	10
特別支援 学級	2026 情緒	※2026は4月7日時点の生徒数と学級数 ※2030・2040は新たな学校づくり推進計画（一部修正）から抜粋	
生徒数	30		
学級数	4		

②学校の主な変遷

1971年：町田市立町田第三中学校開校

■山崎中学校（築47年）



①生徒数・学級数

	2026	2030	2040
生徒数	255	175	121
学級数	8	6	5
特別支援 学級	2026 知的	学びの 多様化学校	2026
生徒数	24	生徒数	13
学級数	3	学級数	3

②学校の主な変遷

1979年：町田市立山崎中学校開校

■町三・山崎地区統合新設校 想定生徒数・学級数

※特別支援学級（知的・情緒）を配置

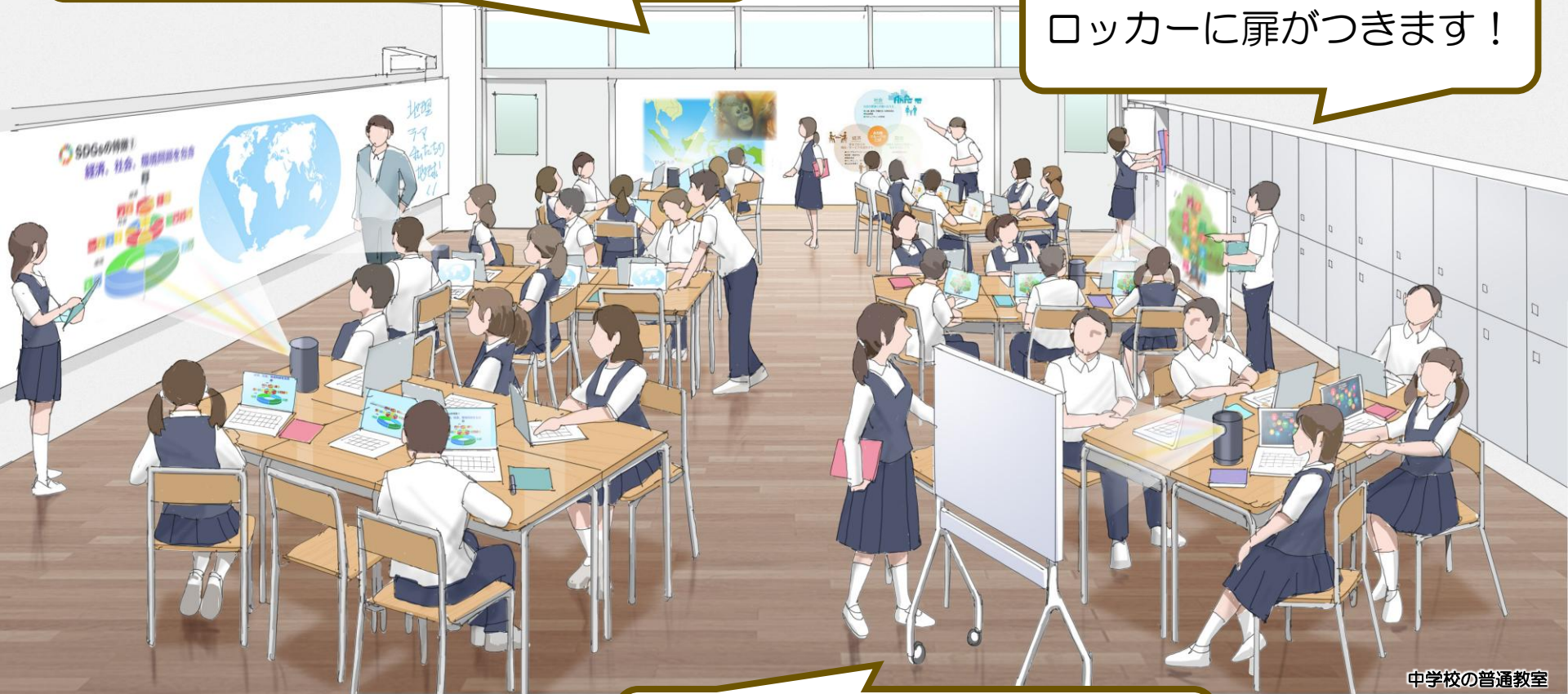
	2033
生徒数	515
学級数	16

※2033は児童・生徒数推計から抜粋

新たな教育環境について①

広くてゆとりのある教室になります！

ロッカーに扉がつきます！

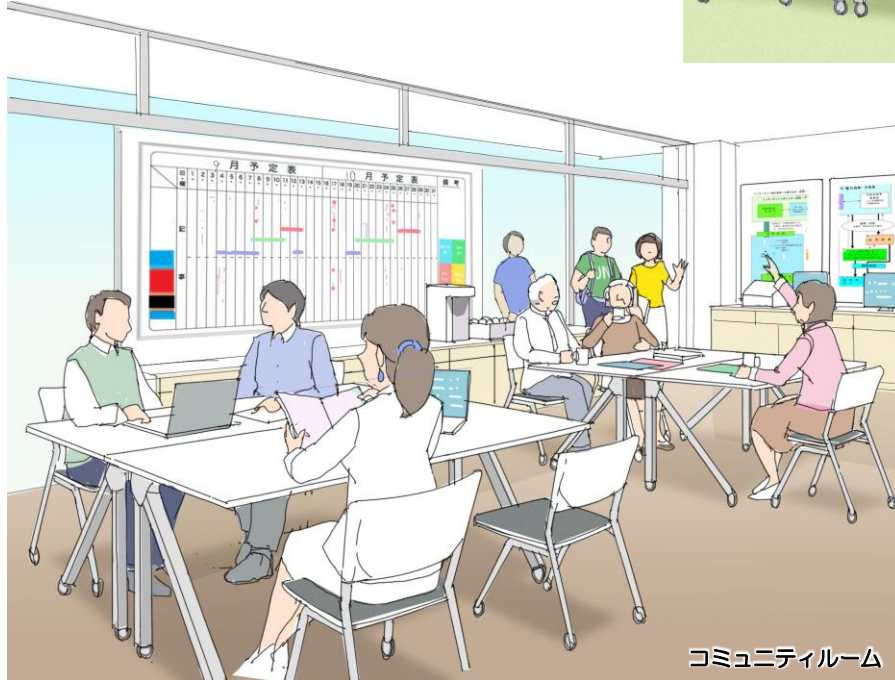
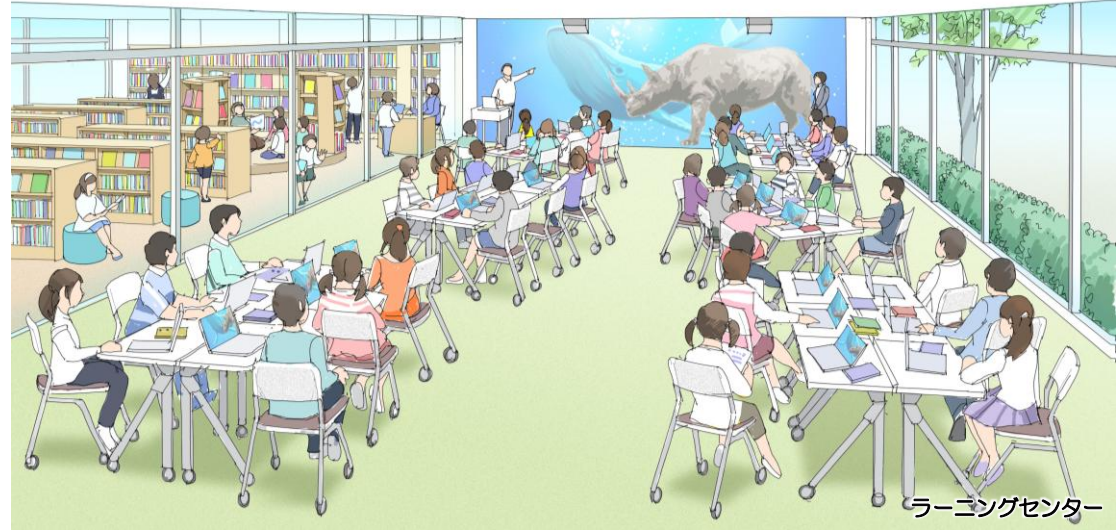


中学校の普通教室

ホワイトボードを整備します！

新たな教育環境について②

図書や視聴覚教材を活用できるラーニングセンターが整備され、協働的な学習ができるようになります！



学校の教育活動を支援するコミュニティルームが整備され、学校支援ボランティアやコミュニティスクールなど学校と地域の協働の活動拠点になります！

プールの屋内化・集約化について

学校プールの教育環境の向上及びプールの設置や維持管理にかかる費用の軽減を図るため、プールの屋内化・集約化を基本的な方針として「**今後の町田市立小中学校のプール整備方針**」を策定しました。

この方針に基づき、統合新設中学校では、**プール拠点校**として、他の中学校も利用する予定です。

※プール授業で使用する学校の想定

学校名	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033
町田第三中学校	既存校舎の屋外プール							廃止
山崎中学校	既存校舎の屋外プール							廃止
統合校								屋内プール

施設整備について

**町田第三中学校・山崎中学校統合新設中学校
(学校建設地：旧日本町田小学校用地)**

基本コンセプト

町田市のめざす教育を実現する 基本コンセプト

町田市の教育目標

町田市未来づくりビジョン 2040

「未来を生きる力を育み合うまちになる」

町田市学校教育プラン 24-28

「自ら学び、あなたと学び、ともに創る町田の未来」

町田市立学校 施設機能別整備方針

「ともに学び、ともに育つ学び舎づくり」

町田市の教育目標

町田市教育未来ビジョン2040

胎児期・幼年期
(0～5歳)

少年期
(6～18歳)

青壮年期
(19～44歳)

中年期
(45～64歳)

高齢期
(65歳～)

＼ 政策 ＼

2 未来を生きる力を育み合うまちになる

町田市で育った子どもたちが様々な分野で活躍できるよう、また、地域全体で成長していくことができるよう、子どもたちの学び意欲を育てる取り組みや、教育環境の充実などを図っていきます。

大人と子どもが共に成長し、まちづくりに取り組んでいます。

こんな姿を目指します

施策2-1

子どもが自分らしく
育つ場を提供する



施策2-2

学ぶ意欲を育てる



施策2-3

教育環境を充実させる



施策2-4

地域の教育力を高める



町田市教育プラン24-28

自ら学び、あなたと学び、 ともに創る町田の未来

「町田市教育委員会は、全ての市民一人ひとりが、学びを通して自らの生きがいを見つけ、他者への理解を深め、学び合うことで、自らが望む未来を創造することができる地域社会の構築を目指します。」

2040年を見据えた目指す姿・あるべき姿

国の
方針

第4期教育振興基本計画における国の方針

- 「望む未来を私たち自身で示し、作り上げていくことが求められる時代」の到来
 - 一人一人の多様な幸せであるとともに社会全体の幸せでもあるウェルビーイングの実現
- ▶ 自らが望む未来を創造することができる地域社会の構築

市民
等の
声

児童生徒・保護者・教員のアンケート調査

- 町田市の教育において皆が目指す姿として、「感謝の心を大切に出来る人」、「お互いを認め合える人」、「自分にも他人も優しく出来る人」の回答が上位
- ▶ 教育を通じて、自分を知るとともに他者と関わり、他者への理解を深めることを重視

市の
課題

課題解決を目指す姿

町田市が取り組むべき課題

- | | |
|---------------------------------------|------------------------------------|
| ① 未来を見据えた学びの推進について
▶ 自ら学び続けることができる | ③ 学びの環境整備について
▶ 学びの環境が整備されている |
| ② 一人ひとりの学びの保障について
▶ 誰でも学ぶことができる | ④ 学びを支える体制について
▶ 地域とともに学ぶことができる |

町田市の教育目標

町田市立学校 施設機能別整備方針

第2章 町田市立学校施設整備の基本理念

「町田市立学校施設整備の基本理念」は、町田市立学校における「教育環境・生活環境づくり」「放課後活動の拠点づくり」「市民生活の拠点づくり」を進めるうえで、どのような学校施設を整備する必要があるのか、そのあり方を基本理念として表しています。

1 教育環境・生活環境づくりの基本理念

学校は、社会において思考力・判断力・表現力や、社会性・人間関係を形成する力を育む場の中で児童・生徒にとって最も重要な場であることから、安心して学校生活を送ることができる環境を基盤として、協働的な学習や学校生活におけるコミュニケーションを促進することができる環境を整備します。

また、多様な学習形態に対応することができる環境や、主体的に体を動かしたくなる環境を整備します。

2 放課後活動の拠点づくりの基本理念

放課後における児童・生徒の居場所の一つとして、安心して様々な活動をすることができる環境を整備します。

3 市民生活の拠点づくりの基本理念

地域と学校が連携・協働するためのスペースの確保や、学校施設のさらなる地域開放、他の公共施設等との複合化によって、多様な人々が学校につどい、教育活動・放課後活動などを通じた連携・協働や、スポーツ・生涯学習、地域活動その他の市民活動を通じて、市民が交流し活動する愛着ある地域拠点となるような環境を整備します。

そして、新たな学校づくりにおいて学校施設機能を集約して整備する場合（例：学校給食の給食センター）においても、愛着ある地域拠点施設とするための多機能化や複合化を検討します。

また、地域の防災拠点として災害時の対応を円滑に行うことができる環境を整備します。

基本コンセプト

町田市のめざす教育を実現する 基本コンセプト

町田市の教育目標

町田市未来づくりビジョン 2040
「未来を生きる力を育み合うまちになる」

町田市学校教育プラン 24-28
「自ら学び、あなたと学び、ともに創る町田の未来」

町田市立学校 施設機能別整備方針
「ともに学び、ともに育つ学び舎づくり」

変化を力に変える

「対話」と「継承」による新たな学校づくり



次世代の学びを育む

未来志向の学校づくり



明快なゾーニングにより

「開く・守る・活かす」

地域に愛され使い尽くされる学校づくり



町田市の教育目標を実現するために

変化を力に変える
「対話」と「継承」による新たな学校づくり



次世代の学びを育む
未来志向の学校づくり



明快なゾーニングにより
「開く・守る・活かす」
地域に愛され使い尽くされる学校づくり



今後の確認事項及び実施内容

●新たな学校の配置について、ワークショップの開催

【目的・目標】

新たな学校を建設するにあたり、校舎やグラウンドの配置はとても重要です。配置の違いによって、どのようなことがよいポイントか意見を伺います。

いただいたご意見を集約し、
「**新たな学校をつくるにあたって大事だと考えること**」を確認し、
具体的な設計に活かしていきます。

学校施設として見るべきポイント

評価項目	
教育環境	普通教室の日照（教室の向き）
	グラウンドの広さ・形
動線	歩車分離（道路と校舎の近接）
	校舎のコンパクトさ
安全	見守りのしやすさ
	高低差処理のしやすさ
地域開放	利便性（道路と地域開放が近接）
	区画のしやすさ（ゾーニング）
近隣配慮	東西住宅への見合い・日影
	グラウンドからの騒音

学校施設として見るべきポイント(既存の学校)

正門と通用口の
動線分離

地域の方もアクセス
しやすい体育館

南面で明るい
B棟とC棟の教室

管理の目が行き届き
にくい歩行者動線

整形なグラウンド

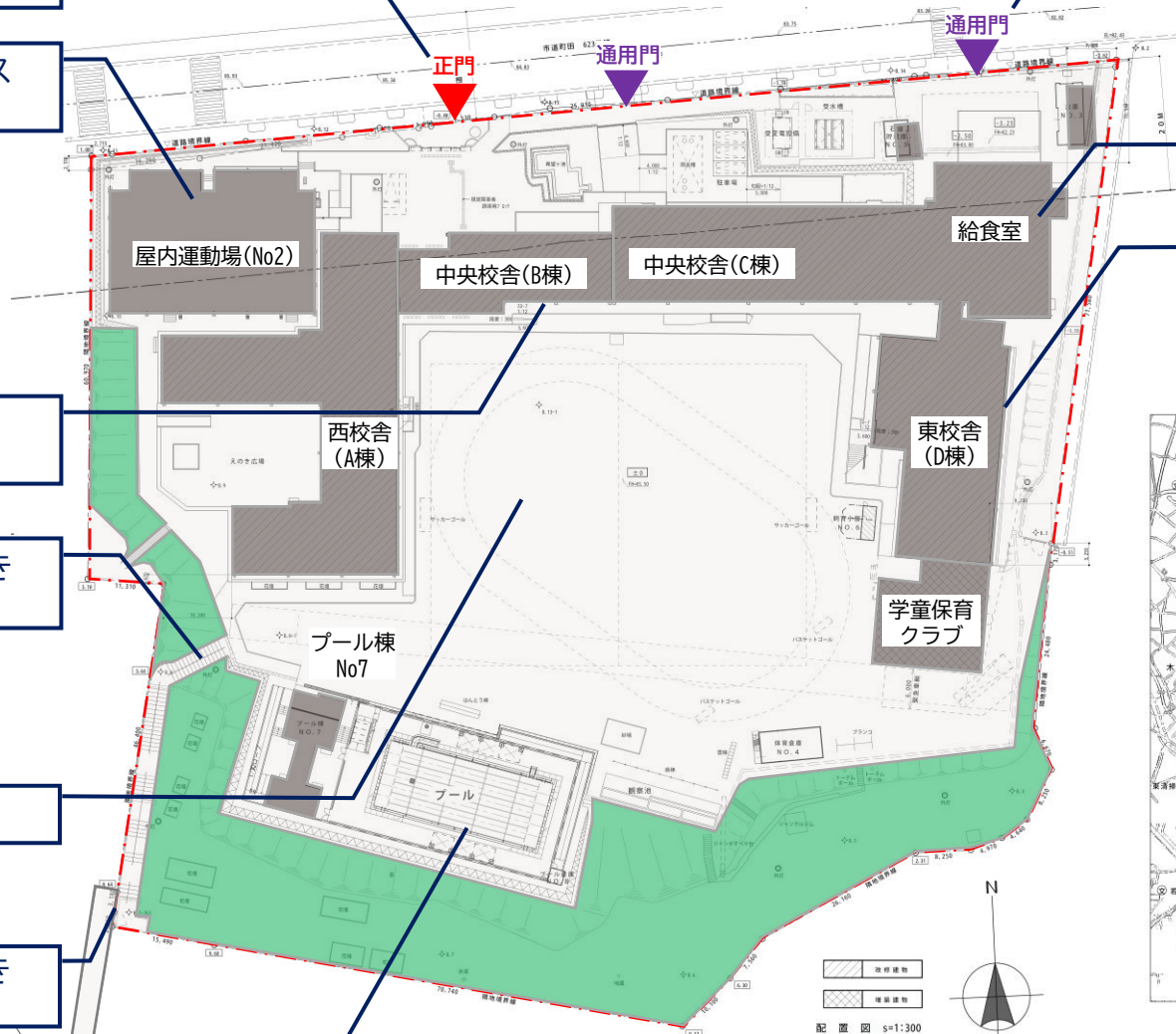
管理の目が行き届き
にくい門扉

校舎から遠いプール

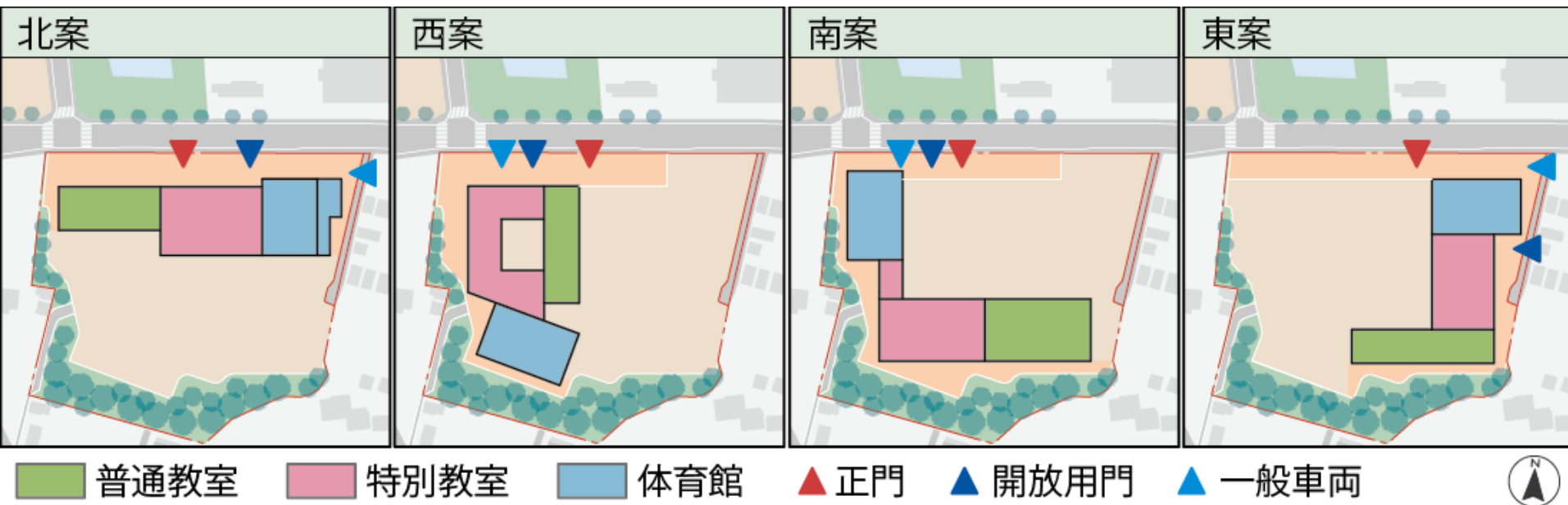
給食の搬入等専用の
車両出入口は生徒の
動線と分離

前面道路からアクセ
スしやすい給食室

近隣との見合いが
気になるD棟の教室



配置パターン（例）の紹介



スケジュール

第一回 アナウンス・スケジュール等の確認

第二回 配置案の検討①

よいところや気になるところについてワークショップ

第三回 配置案の検討②

第二回の意見を踏まえた更新案についてのワークショップ

第四回 配置案とコンセプトについて最終意見確認（書面開催）

第五回 最終まとめ資料の確認